

【鎌倉市自殺対策計画「いきるを支える鎌倉」第2期 p66 より】

第5章 今後の成果指標

1 自殺対策全体の数値目標

国や県の目標と、本市の平成29年(2017年)～令和3年(2021年)の自殺死亡率及び自殺者数の平均値から、令和4年(2022年)～8年(2026年)の自殺死亡率(5年平均)12.1以下を目指します。(第1期計画では「平成30年～令和4年目標値」としていましたが、計画改定時点で把握できる統計資料に合わせ、「平成29年～令和3年の平均値」とします。また、第2期計画の目標値の設定期間を「令和4年～令和8年」とします。)

【鎌倉市】

評価方法	平成24年～ 28年平均値	平成30年～ 令和4年目標値	平成29年～ 令和3年平均値	令和3年～ 令和7年平均値	令和4年～ 令和8年目標値	目標
自殺死亡率 (人口10万対)	16.3	13.8以下	14.3	12.0	12.1以下※1)	15% 以上 減少
自殺者数	29人	24人以下	26.6人	21.4人	22人以下	

※1)平成29年～令和3年の平均値から15%以上減少を目指す

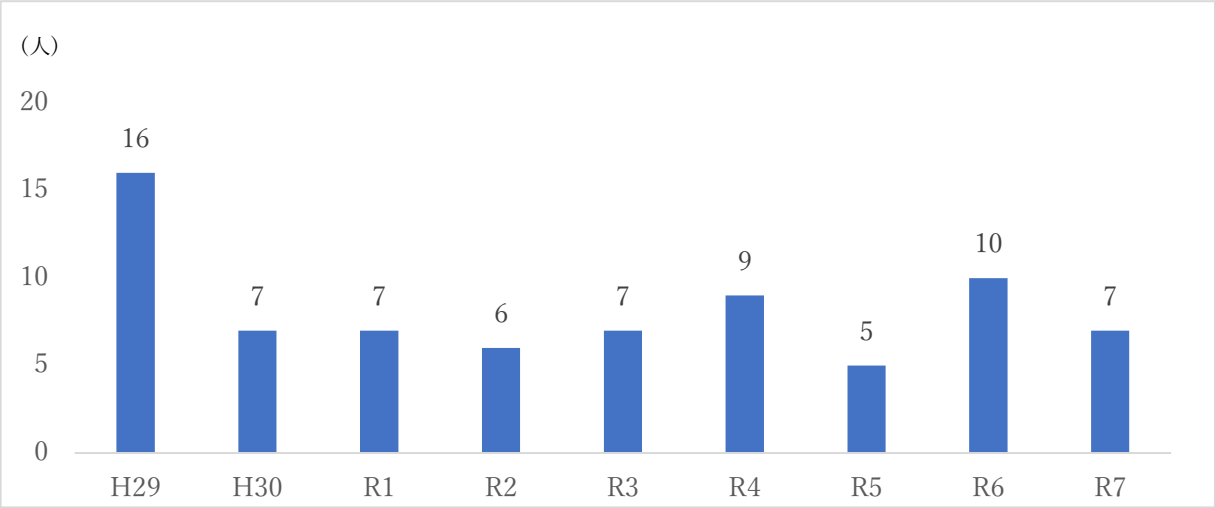
評価方法		評価対象年 自殺死亡率	評価年 自殺死亡率	平成29年～ 令和3年平均値	令和3年～ 令和7年平均値	目標
自殺死亡率 (人口10万 対)	国	平成27年 18.5	平成38(2026)年 13.0以下	16.3	16.6	30%以上 減少
	神奈川県	平成28年 14.6	平成33(2021)年 12.4以下	13.4	14.4	15%以上 減少

参考：地域自殺実態プロファイル【2021】～【2025】

高齢者の自殺者数は、5年間で平均 8.6 人と目標値としては到達しています。しかし、「第 3 章 鎌倉市の現状と課題」で述べたように、60 歳代の自殺死亡率が高くなっており、人生の転換期を迎えた対象への生きがい支援や居場所づくりなどの新たな課題の存在が予測されます。

評価方法	平成 24～ 28 年平均値	平成 30 年～ 令和 4 年目標値	平成 29 年～ 令和 3 年平均値	令和 3 年～ 令和 7 年平均値	令和 4 年～ 8 年目標値	目標
高齢者の 自殺者数	10.5 人	年間 9 人以下	8.6 人	7.6 人	7 人以下	15%以上 減少

図 5 - 1 - 1 60 歳以上の年代別自殺者数(鎌倉市 H29～R7)



参考：地域自殺実態プロファイル【2022】～【2025】

2 主な基本施策に対するモニタリング指標

【基本施策 1 情報提供及び普及啓発】

項目	初期値 (平成 29 年 度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
自殺対策講演会の 実施回数	年 1 回	年 2 回以上	年 3 回	年 3 回	年 3 回
広報媒体による啓 発活動の実施回数	0 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回

備考：いきるを支える講演会(1 回)、庁内ワーキンググループ定例会での研修(1 回)、市民向け公開講座(1 回)、衛生時報への記事掲載(2 回)、鎌倉駅地下道ギャラリー展示、市役所ロビー展示を計上

【基本施策２ 自殺対策を支える人材の育成】

項目		初期値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
ゲートキーパー養成講座受講者数 ※2)		延 1,466 人	延 2,500 人	延 2,658 人	延 3,271 人	延 4,000 人
内訳	市職員のゲートキーパー 養成講座受講者数	延 764 人	延 1,250 人	延 1,048 人	延 1,274 人	延 1,700 人
	一般市民のゲートキーパー 養成講座受講者数	延 702 人	延 1,250 人	延 1,610 人	延 1,997 人	延 2,300 人
関連団体等へのゲートキーパー 養成講座の実施回数／年		0 件	年 5 件以上	年 13 件	年 4 件	年 10 件以上

※2)平成 23 年度からの累計数

関連団体等：介護支援専門員、民生委員・児童委員、医療関係者、地域保健・福祉支援関係者を計上

【基本施策３ こころの健康づくりの推進】

項目	初期値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
こころの健康づくりに関する 講座の開催回数、参加者数	1 回 29 人	3 回 100 人	3 回 119 人	9 回 455 人	3 回 150 人
「こころの健康チェックサイ ト」を知っている人の割合	－	50%	－		※3)

※3)「こころの健康チェック」については国及び県での取組が行われていることから、本市の指標から削除します。

備考：市民向けゲートキーパー養成講座 1 回 68 人、健康づくり応援団(こころの健康)4 回 44 人…計 5 回 112 人
(市民健康課)、ライフプラン講演会(生徒向け・保護者向け) 4 回 343 人(こども家庭相談課) を計上

【基本施策４ 適切な精神保健医療福祉へつなぐ支援】

項目	初期値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
「こころのケアナース」等、 医療機関との研修会の実施回数	未実施	年 1 回以上	未実施	年 2 回	年 1 回以上

備考：令和 7 年度「こころのケアナース」(市民健康課)、精神保健福祉講演会(障害福祉課) を計上

【基本施策5 勤務問題による自殺対策の推進】

勤務問題に関する自殺対策については、国においても特に、企業、労働安全衛生機関、法律専門職、行政等が連携して取り組むべき課題としています。

本計画では、行政としてのモニタリング指標として目標値を定めるのではなく、自殺対策推進に向けた地域づくりのための、商工会議所会報や市の通知物を利用した本計画の周知、自殺対策に関する啓発活動、講演会、相談会等の情報提供について、これらの機関と協力した取組を推進することを目標とします。

備考：【令和7年度 実績】

鎌倉紅谷職員（管理職）を対象にゲートキーパー養成講座実施…参加者 13 人（市民健康課）
 労働相談を月 2 回（随時メール）実施…38 件（うちメール 17 件）の相談に対応。
 メンタルヘルス相談を月 1 回実施…2 件の相談に対応
 街頭労働相談を実施…107 件の相談に対応

（商工課）

【基本施策6 いきることの促進要因への支援及び地域におけるネットワークの強化】

情報の周知や市民の意識の変化に関するモニタリング指標とします

項目	初期値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
「将来の夢や目標がある」と回答する子どもの割合	小学 6 年生 79.1% 中学 3 年生 79.0% ※ 4)	100%に 近づける	－ ※ 6)	令和 6 年度 ※ 8) 小学 6 年生 80.1% 中学 3 年生 65.3%	100%に 近づける
「気持ちの張りや生きがいがある」と回答する市民の割合	青年期 83.8% 壮年期 82.3% 高年期 80.0% ※ 4)	100%に 近づける	－ ※ 6)	該当の項目なし	100%に 近づける
庁内関係課による「いきるための支援力向上グループ」の定期的な開催	－	年 4 回以上	年 1 回	年 3 回	年 2 回以上

参考「気持ちの張りや生きがいがある」に代わる内容として、モニタリング指標を次のとおり変更予定

悩みや不安を相談する人、相談できそうな人が「いない」人の割合 ※ 8)	平成 26 年度 ※ 5) 青年期 4.3% 壮年期 5.8% 高年期 7.8%	－	－ ※ 6)	令和 6 年度 ※ 8) 青年期 6.0% 壮年期 7.5% 高年期 8.5%	割合の減少
-------------------------------------	---	---	-----------	--	-------

※ 4) 出典：鎌倉市健康づくりについての意識調査(平成 26 年)

【基本施策 7 個人及び地域全体の自殺リスク低下に向けた支援】

情報の周知や市民の意識の変化に関するモニタリング指標とします

項目	初期値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 4 年度)	現状値 (令和 7 年度)	目標値 (令和 9 年度)
困っていることや悩みを相談する人が「いない」子どもの割合 →悩みや不安を相談する人、相談できそうな人が「いない」子どもの割合 ※8)	平成 26 年度 ※5) 小 6 男子 8.2% 小 6 女子 5.6% 中 3 男子 8.6% 中 3 女子 4.8%	0 %に 近づける	－ ※ 6)	令和 6 年度 ※8) 小 6 男子 1.0% 小 6 女子 4.0% 中 3 男子 3.5% 中 3 女子 7.5%	
いいことも、悪いことも話せる人が「いる」子どもの割合 ※7)				令和 6 年度 ※8) 小 6 男子 93.2% 小 6 女子 87.9% 中 3 男子 86.0% 中 3 女子 84.9%	100%に 近づける

※5)出典：鎌倉市健康づくりについての意識調査(平成 26 年)

※6)新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度の「鎌倉市健康づくりについての意識調査」は未実施

※7)「鎌倉市健康づくり及び食育についての意識調査」(令和 6 年度実施予定)の項目に合わせて指標を変更

※8)「鎌倉市健康づくり及び食育についての意識調査」(令和 6 年度)

【基本施策8 女性がいきるための支援】

項目	現状値 (令和4年度)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和9年度)
支援者向けのゲートキーパー養成講座の実施率		1件	年1回以上

備考：庁内ワーキンググループ向けゲートキーパー養成講座を計上

【基本施策9 子ども・若者のいきる力を育む(「SOS の出し方教育」等)】

項目	初期値 (平成29年度)	目標値 (令和4年度)	現状値 (令和4年度)	現状値 (令和7年度)	目標値 (令和9年度)
市立小中学校における 「いのちの教育」の実施率	100%	継続・拡充	100% 18回/278人	100% 児童生徒向け 年17回/1992人 保護者向け 年5回/75人	100%
市立小中学校における 「SOS の出し方教育」の実施率	－ ※8)	100%	100% 2回/333人	100% ※10) 年2回/280人	100%
「SOS の受け止め方講座」の実施回数 ※9)	－	－	年1回 1回/58人	年2回/63人 ※10)	年1回

※8) 「いのちの教育」の中で一部実施していますが、「SOS の出し方教育」として、特化して実施していない

ため、平成29年度の現状値を「－」で表しています。

※9) 「SOS の出し方・受け止め方講座」は、令和4年度から開催しています。年1回の実施で5行政地区での開催を予定しています。

※10) 「SOS の出し方教育」、「SOS の受け止め方講座」は、R7より「ライフプラン講演会」として実施しています。

【参考】講座の計上先

事業	実施回数／人数	現状値の計上先
【一般市民向けゲートキーパー養成講座】 「聴き方が変わると、生き方が変わる」	1 回／68 人	基本施策 2、基本施策 3
健康づくり応援団	4 回／44 人	基本施策 2
ライフプラン講演会（生徒向け）	2 回／280 人	基本施策 3、基本施策 9
ライフプラン講演会（保護者向け）	2 回／63 人	基本施策 3、基本施策 9
いのちの教室（児童・生徒向け）	17 回／1,992 人	基本施策 9